

横浜市訪問介護連絡協議会 令和2年度 第9回幹事会

場所	Zoomによるweb会議
日時	令和3年3月16日(火) 18:30~19:30
議題	(1) 資格取得支援事業申請状況(横浜市) (2) 多職種連携委員会研修 振り返り (3) 広報委員会より (4) その他
出席者 (敬称略)	<役員>佐藤・細川・澤田・芳原・真壁・斎藤・笠原・新井・正木・浅田・北村・水梨 <各区代表・幹事>(事業所名略) 鶴見区:本間、田村 神奈川区:木俣 西区:神崎 中区:岩本、佐藤 南区:花摘 保土ヶ谷区:陸 瀬谷区:永原 金沢区:山口 港北区:菅原 都筑区:嶋田 青葉区:大図 欠席区:泉区、戸塚区、栄区、青葉区

議題	<p>(1) ① 資格取得支援事業申請状況(横浜市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/1 締切し、90名が申請した。目標の300名には遠いが、昨年3倍となった。2/末現在、養成機関においては1200名が受講した。来年度も継続することとなっており令和2年4月1日以降受講開始の人ならば申請できる。来年度は施設系に就業している人も対象となるが、非常勤から常勤になる人が当てはまる。 <p>② サービスAについて</p> <p>サービスAについては更新しない事業所が多いため、横浜市として実態を把握しなかったことからアンケートを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8割以上の事業所で有資格者がサービス提供をしている。 ・研修を事業所で行うことは負担である。→来年度以降、市は入門研修(サービスAを行える研修)をオンラインで主催する予定である。 ・サービスAの対象者が少ない。ケアマネのサービスAへの理解が少ない。→市としてもケアマネへの説明を行ってゆく。 ・包括によりサービスAに対する考え方が異なっている。考え方を統一してゆかなければならない。 ・ヘルパーの仕事の入り口が低くなれば、なり手が増えるかもしれないので、そのためにサービスAが浸透してゆけば良い。 <p>(2) 多職種連携委員会研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・43名が参加した。バイオ、ロボット、レースの話があり、組織については最後となり、車の話が多かった。 ・初めて異業種の人に講師を依頼した。興味深い話を聞くことができた。 ・人とのかわり、コミュニケーションの大切さを考えさせられた。 ・ためになる内容なのでホームページにて公開し、管理者に見てもらいたい。 →映像を編集し、ホームページに掲載する予定、今後案内する。 <p>(3) 広報委員会より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3/15の更新はブログの更新のみ、執筆は次回3/末は都筑区、その後4/15は鶴見区の予定である。
----	--

	<p>・ホームページに新たに Q&A のコーナーを準備中である。制度、活動の疑問点等を解決するため、現場でのつまづき、もめ事を Q&A に載せて統一した考え方につなげて行きたい。</p> <p>(4) その他</p> <p>① 総会準備について</p> <p>5月に予定、書面での手続きとなる。基調講演はオンラインで淑徳大学教授の結城康博氏に依頼し、「制度改正と今後の訪問介護について」話をしてもらう予定である。5/19(水)13:30～にて調整中である。</p> <p>② 次期役員について</p> <p>事務局でのメール配信を手伝える人がほしい。</p> <p>③ NPO 法人 アスリードについて</p> <p>早い段階から将来について考えることを助けるため、中学、高校生へのキャリア教育を行っており、職業講話の企画、職業教育誌の発行等を行っている。若い人たちに介護、訪問介護を知ってもらう、アピールできる機会を得ることができると思われるので、来年度、賛助会員として参加する予定である。</p>
配布先	上記出席者及び欠席区幹事
次回開催日	未定